

2022年8月8日

2023年3月期第1四半期 決算短信補足資料



証券コード：4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

損益計算書（連結）

単位：百万円	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	14,221	15,269	1,048	7.4%
営業利益	1,188	1,664	476	40.1%
経常利益	1,329	1,805	475	35.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,098	1,323	224	20.4%

増収・増益要因

- ✓ 医薬品事業では産婦人科領域において「レルミナ」「フリウェル」が2桁増収となり、6月発売した「ドロエチ」も順調な出だしとなりました。内科領域においても「チラーチン」「リフキシマ」が着実に伸長し、泌尿器科領域では「リュープロレリン」が好調に推移した結果、薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。
- ✓ アニマルヘルス事業では飼料添加物等の売上が好調に推移しました。

事業別売上高（連結）

単位：百万円	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
医薬品事業	12,840	13,646	89.4%	806	6.3%
アニマルヘルス事業	1,351	1,593	10.4%	242	17.9%
その他事業	30	29	0.2%	△0	△2.7%
合計	14,221	15,269	100.0%	1,048	7.4%

主要製品売上高

単位：百万円

領域	製品	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期		2023年3月期計画		特記事項
		実績	実績	前同比(%)	見込み	前同比(%)	
内科	カンデサルタン類 ※1.※2	3,198	2,859	89.4%	10,840	87.5%	薬価はダウンしたが数量ベースは維持
	チラーチン	1,945	2,040	104.9%	7,714	102.9%	2022年7月 ブランド生誕100周年
	リフキシマ	1,247	1,404	112.6%	5,289	109.0%	
	メルカゾール	381	390	102.4%	1,440	98.8%	
	アムロジピン ※1	291	242	83.2%	963	89.7%	
産婦人科	レルミナ	1,788	2,259	126.3%	9,779	133.3%	2021年12月 子宮内膜症適応追加
	フリウエル ※1	804	888	110.4%	3,083	89.0%	
	ドロエチ ※1	—	412	—	1,944	—	2022年6月16日 1社単独発売
	アンジュ	230	228	99.4%	896	104.9%	
	ルテウム	152	214	140.6%	836	126.5%	2022年4月 不妊治療保険適用開始
	マグセント ※3	226	153	67.9%	682	80.2%	
泌尿器科	リュープロレリン ※1.※4	1,161	1,357	116.9%	4,589	88.5%	

※1 ジェネリック医薬品
※2 配合剤を含む

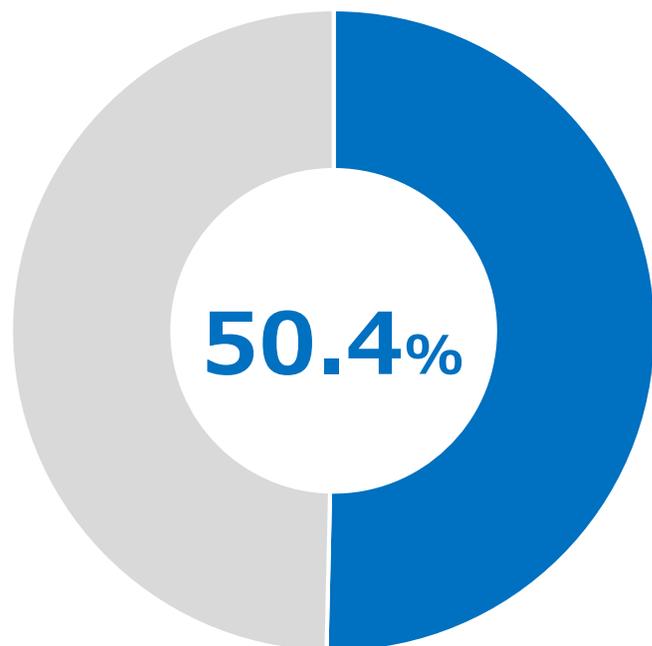
※3 硫酸マグネシウム製剤の合算値

※4 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mg製剤との合算値

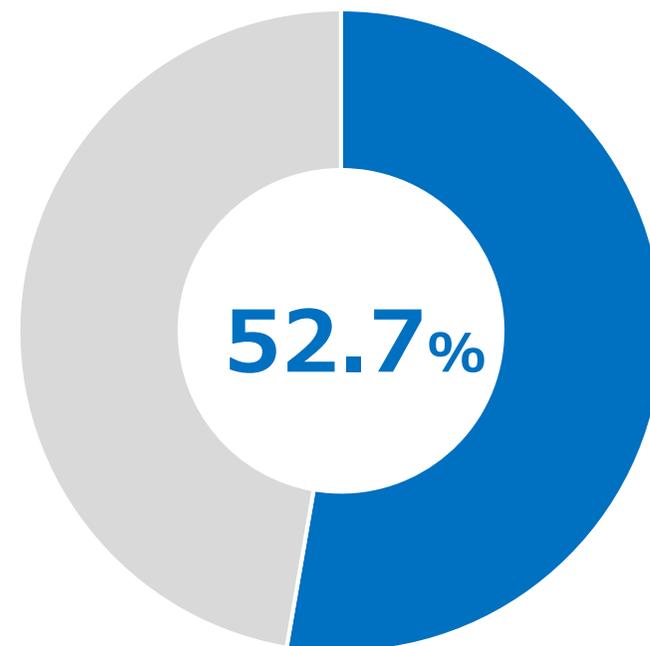
先発品比率

■ 先発品 ■ GE品

2022年3月期 第1四半期



2023年3月期 第1四半期

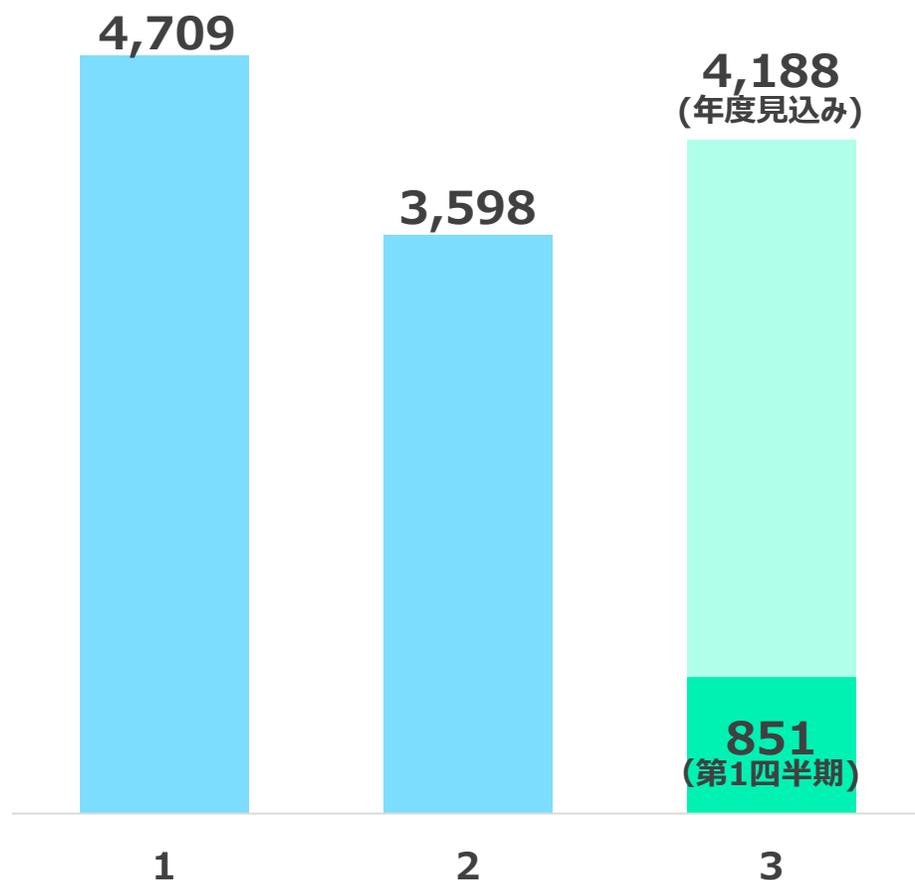


レルミナ、リフキシマ、チラーチンの伸長により製品ミックスが改善し、先発品比率は2.3ポイント上昇しました。

研究開発の状況

研究開発費推移

(百万円)



2022年8月8日時点

開発番号(一般名)/領域・効能	状況
LF111 (ドロスピレノン) 避妊	Ph III
(オプション契約) PMS/PMDD治療薬 レナサイエンスにて開発中	Ph II (医師主導)
(オプション契約) 子宮頸部異形成治療薬 キノファーマにて開発中	Ph I / II (韓国)
TRM-270 (癒着防止材) (消化器領域・産婦人科領域)	治験準備中
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症 (小児)	Ph II / III
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症	Ph II ※
レルゴリクス配合剤 子宮筋腫	開発準備中

※高用量で追加のPh I 試験を終了 (2022年4月)